

自然保護部 野生動物の森⑱ ジョウロウグモとジョウロウイワ 2014.12

カナダから来た女性が初めて見たジョウロウグモを賞賛していました。なるほど、先見と偏見なしで見れば貴婦人のようにたいそう優雅で美しい生き物です。先日の葦毛湿原観察会でも旺盛に繁殖しておりその生態を教えてもらいました。山道で出会うと疎ましいとは感じるけどなかなか興味深くなやかに生きる生物です。

- ・ 身体はメスがオスの倍以上大きく、オスは交尾中に食べられしまうのでメスが脱皮中か捕食中でないと近づけません。オスたちはじっと網の隅で雌を窺い、チャンスがくるのを今か今かと狙っています。
- ・ ジョウロウグモの網はたいそう立派で、デザイン性もあり、楽譜に例えられます。横糸は5～6本単位でまとまって上下に間隔が空いており、横糸には透明な足場糸も入っています。時々横糸を張り替えるので左右の様子が違うこともあります。
- ・ 網の上の方には網目の無い部分もあります。これは他のクモと違い、網を作るときにらせん運動(反時計回り)だけではなく往復運動で下部の横糸を張っているからです。
- ・ 網目の扇方は周辺に行くほど面積が大きくなるはずだが縦糸を二又になるよう分岐させて張るので目の面積がきちんと詰まっています。
- ・ 横糸は黄色いため陽を受けると金色に輝きます。もっとも昆虫の複眼には糸が見えないようです。
- ・ 女郎ではなく上臈(貴婦人)が本来の名称らしい。

さて、新城市、県民の森、東～北尾根分岐の東にもジョウロウ(上臈)岩があります。私が訪れた時は「沢屋」で有名な成瀬陽一さんが黄楊野高校OBとクライミングをしていました。鳳来湖から150mの比高差でとてもスリリングな巨岩です。ここに都から避難してきた貴婦人(上臈)が住んでいたと伝えられています。実際は鳳来寺修験者の山岳修行地のようで、いくつかの洞穴があります。成瀬さんは頂上部直下で洞穴を発見していました。案外、上臈とは「上廊」のことなのかもしれません。地元でも知る人ぞ知る探検スポットです。(M)

